

## 第 1 2 回委員会会議結果概要（案）

|                        | 会議結果要旨   |
|------------------------|--|
| 第<br>12<br>回<br>会<br>議 | <p><b>○第 1 1 回委員会会議結果関連</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・質疑なし。</li> </ul> <p><b>○2 工区の起点関連</b></p> <p>[主な意見及び対応]</p> <p>&lt;倉阪委員&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 2 工区起点付近の三角形の民地はなかなか使いづらいと思うので、換地を考<br/>えてできる限り開口部の広い自然環境学習の場を考えてほしい。</li> </ul> <p>&lt;佐野委員&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 2 工区起点の西側では、将来的に内陸部で湿地再生をするという考え方があ<br/>る。そういうことを考えた時、海岸線の部分については、かなり広く公の土<br/>地が変わっていくと思う。第 2 工区を施工した場合、手戻りになる可能性も<br/>あることを理解しておいた方がよい。</li> </ul> <p>&lt;清野委員&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 背後地について、もともとリスクが高いところが安全になって、そこでの差<br/>分のお金が出てくるということは念頭に置いた事業提案というのが各所から<br/>出ることを希望する。</li> </ul> <p>&lt;竹川委員&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 完成断面まで早急に進めていくと、背後地の問題も絡むので、その辺につい<br/>ては委員会で状況をみるというぐらいの幅があってもいいと思う。</li> </ul> <p><b>○モニタリング調査結果の検証手法関連</b></p> <p>[主な意見及び対応]</p> <p><b>個別目標：防護（地域の防護の確保）</b></p> <p>&lt;佐野委員&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 高潮・高波において、予想をはるかに超える場合が生じることもあるので、今<br/>後は多重防護の考え方が重要である。</li> </ul> <p>&lt;遠藤委員&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 自然を相手にして構造物をつくる場合、これならば絶対大丈夫というもの<br/>はない。いかに災害を低減するかというように考える。</li> </ul> <p>&lt;竹川委員&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 行徳湿地の広い水面を遊水池として活用するという方向も十分現実的な効果<br/>があると思う。</li> </ul> |

|        | 会議結果要旨  |
|--------|---|
| 第12回会議 | <p><b>個別目標：環境（周辺生態系の保全）</b></p> <p>&lt;遠藤委員&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ここでは、具体的な事例を幾つかあげて、そして評価基準という形になっているが、あまり具体的なものよりも、もう少し広く評価ができるような項目を入れておいた方がいいと思う。</li> </ul> <p>&lt;及川委員&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・滞筋を残すか残さないかは、三番瀬漁場再生委員会でいろいろ検討している段階である。</li> </ul> <p>&lt;佐野委員&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・三番瀬の生物の多様性という意味から考えると、基準にアサリしか入れていないというのはいかがかなと思う。</li> </ul> <p>&lt;倉阪委員&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・滞筋について、今後どういうふうにしていくのかという考えで、目標も設定しなくてはいけないと思う。滞筋底部について泥質のままであるべしと言ってしまうのは、いかがなものかと思う。</li> </ul> <p>&lt;川口委員&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・目標として、滞筋は将来埋めるのか埋めないのかという議論をしておいた方がいいと思う。</li> </ul> <p>&lt;澤田委員&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・滞筋にたまっている泥分には、同じ泥でも生きた泥と死んだ泥があると思う。生きた泥というのは、いろんな生物がいっぱい住んでいたりして、泥の質がよくなっている。</li> </ul> <p>&lt;清野委員&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・生きた泥と死んだ泥というのはすごい大事な示唆だと思う。今は、土質で分けているが、もうちょっと生き物的な指標を入れて見直すことができるのかなと考える。</li> <li>・深淺測量の結果を表や図で整理しているが、元の数値データも公開してほしい。三番瀬全体の議論をする時に、これだけ精度高く測っているものはない。</li> </ul> <p><b>個別目標：利用（人々と三番瀬の触れ合いの確保）</b></p> <p>&lt;遠藤委員&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・評価基準はできるだけ明確であるべきだと思う。アンケートは、項目を明確に出しておく必要がある。</li> </ul> <p>&lt;歌代委員&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・遠藤委員に賛成である。具体的に提案しないと全然わからない。</li> </ul> |

|                        | 会議結果要旨   |
|------------------------|--|
| 第<br>12<br>回<br>会<br>議 | <p>&lt;倉阪委員&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・アンケート項目を設定する中で、具体的な基準を念頭に置きながらアンケートをつくっていくことが重要である。</li> </ul> <p><b>○その他関連</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・次回第13回委員会は平成19年5月に予定しており、委員会開催の前には勉強会も引き続き開催することを考えている。</li> </ul> <p><b>○傍聴者からの意見</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ツバサゴカイは、1個体で棲管が2つある。</li> </ul> |